

# 房総の 文化財

VOL. 14

平成9年11月1日

財団法人 千葉県文化財センター

〒284 千葉県四街道市鹿渡809-2

TEL043-422-8811(代)

FAX043-422-8850

ISSN 0919-0848  
Bōsō no bunkazai



# 発掘調査速報

戦国時代の山城跡 —四街道市北ノ作遺跡—

北ノ作遺跡は、四街道市の北東に位置する物井地区にあり、東に鹿島川を見下ろす台地に位置しています。遺跡の東の端は、調査前から土手（土塁）に囲まれた曲輪や斜面を整形した平場（腰曲輪）の存在が確認され、中世の城跡であることがわかっていました。

発掘調査は今年の4月から実施しています。その結果、城が築かれる以前には縄文時代や古墳時代の集落があったこと、その後、室町時代に墓地が造られたことがわかりました。築城の際、これらの遺構は削られて平坦面が造り出されています。土塁で囲まれた大きな曲輪（本丸に相当）の内側では、多くの柱穴が検出されました。柱穴の配列から、5棟以上の掘立柱の建物跡や門の跡があったと考え



障子堀

られます。当時の城には、江戸時代の城のような天守閣はありません。また、通路をもつ深い井戸も検出されました。さらに、土塁の外側や腰曲輪には空堀がめぐっており、そのうち、幅5m・深さ3mの空堀は、底に2m間隔で仕切りが並ぶ「障子堀」であることがわかりました。これは、敵に堀底を通路として使わせないための障害となるものです。

遺物は、中国製の青磁や瀬戸・美濃焼きや常滑焼きの陶磁器（碗・皿・播鉢・甕）のほか、素焼きの皿・播鉢・鍋も多く出土しました。ほとんどが16世紀代（戦国時代後半）のもので、建物跡や井戸とともに、多くの遺物が出土していることから、城主の一族は普段も城の中で生活していたことがわかります。

この城の名前や城主のことは、当時の文書には伝えられていません。16世紀前半は、臼井城（佐倉市）を本拠とする臼井氏とその一族である四街道地域の領主は、本佐倉城（酒々井町）を本拠とする千葉氏や原氏と鹿島川を挟んで争っていました。また、障子堀を使った城を多く



隣の山から望む山城跡



土塁と通路をもった井戸（底は未調査）



曲輪の中の柱穴群（掘立柱建物跡）

築いた小田原北条氏は、16世紀半ばには房総北部を勢力下に入れていました。この城はそうした政治状況を背景として築か

れたと考えられます。（井上哲朗）

# 収蔵遺物コーナー

黄金に輝く刀を帯びる首長 —四街道市物井地区御山遺跡—

『古墳時代の物井地区。湧水の豊富な谷津田を中心とした水田開発に成功した集団の中から少しずつ勢力を伸ばしていった一族があった。』

何代目かの首長は特に知略に長け、食料を増産し、武器を購入し周辺の地区との争いに勝利した。また、中央の政権の有力者にもとりいって黄金に輝く刀を授

かった。彼は黄金に輝く刀を帯びる首長と呼ばれ、ますます勢力を伸ばしていった。

しかし、いずれ頑健な体も老いる。首長の亡骸に愛用の大刀を握らせて埋葬した者たちは一族への加護を願わずにはいられなかった。』

さて、想像はこのくらいにしますが、御山遺跡の円墳（SX015）の石棺からは金銅装大刀（写真）、直刀、鉄鎌、勾玉、ガラス小玉、数人分の人骨などが出土しています。

金銅装大刀は残りの良い完形品で、柄頭から鞘尻に至るまですべて金銅板（金メッキされた銅板）で覆われている大変立

派なものです。

この大刀は、まさに一族の英雄である首長の姿を飾るのにふさわしい一振だったことでしょう。

（福田 誠）



金銅装大刀

# 遺跡今昔物語

続々刊行される調査報告書

千葉市のJRF外房線鎌取駅の南側に広がる千葉・東南部ニュータウン「おゆみ野」の開発に伴い、私たちは、昭和49年から遺跡発掘調査を行っています。600ヘクタールに及ぶ広大な開発面積の中で40か所近い遺跡を調査しましたが、一部を除いて、ほとんど調査は終了しています。すでにその多くは、住宅・都市整備公団によって造成され、住宅、公共施設、商業施設が建てられ、新しい街として生まれ変わりつつあります。

発掘調査が終了すると調査報告書を作成するための整理作業に移ります。調査報告書には調査された住居跡、古墳、貝塚や出土遺物の図面や写真などが収録されています。すでに18冊の報告書が刊行されていますが、現在も多くの調査員が調査記録類や出土遺物と格闘して、報告書作りに取り組んでいます。

報告書の中には長く活用され傷んでしまったものもありますがこれこそ私たちの望むところです。

皆さんも、何かの機会に報告書を見かけた折には、ぜひページをめくって、地中から紙の上に移った遺跡の姿から、古代の世界に心を馳せていただければと思います。（福田 誠）



千葉東南部ニュータウン関連の報告書



六通貝塚調査風景



- 1. 有吉北貝塚
- 2. 有吉遺跡
- 3. 上赤塚貝塚
- 4. 上赤塚古墳群
- 5. 高沢古墳群
- 6. 生浜古墳群
- 7. 高沢遺跡
- 8. 南二重堀遺跡
- 9. 城ノ台遺跡
- 10. 有吉城跡
- 11. 有吉南遺跡
- 12. 鎌取遺跡
- 13. 大膳野北遺跡
- 14. 有吉南貝塚
- 15. 馬ノ口遺跡
- 16. 椎名崎遺跡
- 17. 伯父名台遺跡
- 18. 木戸作遺跡
- 19. 椎名崎古墳群A支群
- 20. 椎名崎古墳群B支群
- 21. 椎名崎古墳群C支群
- 22. 今台遺跡
- 23. 神明社裏遺跡
- 24. 小金沢貝塚
- 25. 六通遺跡
- 26. 六通貝塚
- 27. 小金沢古墳群
- 28. 御塚台遺跡
- 29. ムコアラク遺跡
- 30. 六通金山遺跡
- 31. 六通神社南遺跡
- 32. 白鳥台遺跡
- 33. 大膳野南貝塚
- 34. バクチ穴遺跡
- 35. 富岡古墳群
- 36. 大田法師遺跡
- 37. 椎名神社遺跡
- 38. 春日作遺跡

# 埋文アラカルト 木製品のいろいろ

## ひとがた 人形

人の形に削った薄い板に墨で顔や衣が書かれ、罪やけがれを祓い清めるために川などに流された祭祀用具です。右図の人形は、市原市の市原条里制遺跡の古代の地層から見つかったもので、杉材で長さは7.5cmを測ります。都や諸国の国府ではさかんに祓という祭りが行われたので、この人形も上総の国府で使われたものかもしれません。

## きばり 木針

右図の木針は、市原市の市原条里制遺跡の古代の地層から見つかったものです。ヒノキ材で長さは11.3cm、幅1.6cm、厚さ0.5cmを測ります。筵などを編むときに使用した編み針または漁網用の網針ではないかと考えています。

(川島利道)



人形

木針

## Q&A

平成9年度出土遺物展「石の時代今むかし—佐倉第三工業団地内遺跡群—」での質問から

Q. 石器の産地はどこですか。また、どのように運搬されたのですか。

A. 石器の種類によって様々な石材が使われました。たとえば、旧石器時代や縄文時代にナイフや矢じりに使われた黒曜石は、科学的分析の結果、その産地がかなりわかってきました。県内では、霧ヶ嶺周辺・高原山・箱根や神津島産などのものが多く見つっています。しかし、その入手方法となると、直接産地に皮

袋などをもって採りに行ったのか、物々交換などのいわば交易で手に入れたのか、たぶんその両方ではないかと思いますが、まだ具体的にところはわかりません。産地付近で石器にまで仕上げて完成品として運ばれたものと、原石が運ばれて消費地付近で石器に仕上げられたものの二通りあるようです。(川島利道)

### 黒曜石の主要産地

- |        |        |                |        |
|--------|--------|----------------|--------|
| 1 白滝   | 11 男鹿  | 21 神津島         | 31 姫島  |
| 2 置戸   | 12 雫石  | 22 佐渡          | 32 吾岐  |
| 3 十勝三股 | 13 折居  | 23 板山          | 33 松浦  |
| 4 名寄   | 14 花泉  | 24 大白川         | 34 腰岳  |
| 5 近文台  | 15 湯倉  | 25 霧ヶ峰・男女倉・和田峠 | 35 淀姫  |
| 6 滝川   | 16 塩釜  | 26 麦草峠         | 36 塚瀬  |
| 7 赤井川  | 17 月山  | 27 比那          | 37 冠ヶ岳 |
| 8 折腰内  | 18 高原山 | 28 安島          | 38 出水  |
| 9 出来島  | 19 箱根  | 29 三里山         | 39 竜ヶ水 |
| 10 深浦  | 20 上多賀 | 30 隠岐          | 40 長谷  |



■は、千葉県で見ついている黒曜石の産地の範囲

## お知らせ

### 千葉県遺跡調査研究発表会

千葉県における埋蔵文化財発掘調査研究の成果を公開する発表会と出土遺物の展示会を開催します。

一般の方も参加できますので直接御来場ください。

- ◇日 時 平成10年1月25日(日)  
午前10時～午後3時30分
- ◇場 所 千葉市文化センター

千葉市中央区中央2-21、千葉中央ツインビル2号館  
発表会(3階ホール)、出土遺物の展示(5階市民サロン)

- ◇その他 参加費無料。事前申込みの必要なし。
- ◇問い合わせ 千葉県文化財センター調査部企画課  
TEL. 043-422-8811